

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

生徒たちが創り上げる女子高

●女子高等学校 教諭

なかむらあさこ
中村朝子

2023年度はソーシャルディスタンスを保つといったコロナ対策が緩和され、生徒は仲間たちと近い距離で活動ができるようになりました。本校の生徒たちが力を注ぐ、三大事事と呼ばれるものとして「演劇会」「運動会」「十月祭」があります。前年度の秋に選挙で選ばれたそれぞれの

2023年度は4年ぶりに校外の施設を利用しての開催でした。全校生徒が運動会の間1カ所に集うことで、クラスメイトや先輩後輩の応援にも熱が入り一体感が高まったものになりました。

実行委員長・副委員長が実行委員会を作り、スローガンを掲げて行事の何カ月も前から準備をします。2023年度は前年度よりできることも増え、どうしても参加する生徒たちにとってより良い行事となるか悩み考え行動し、行事を成功に導きました。

演劇会では、クラスごとに20分ほどの劇を作り、当日体育館では16クラスの劇が上演されます。スローガンは「Light up!」でした。キャストも、裏方も、全員が主役、全員が輝く舞台づくりを、という思いが込められています。観客は学年ごとの保護者と生徒で、2022年度と比べ観客を増やして実施ができました。観客が多いことで、上演する側は直に反応を感じることができ、より白熱したものとなりました。

運動会のスローガンは「Always」でした。女子高の皆がどんな瞬間も楽しいと思えるような、そしていつまでもずっと思い出に残るような運動会と一緒に作り上げたいという思いが込められています。2022年度は学校の屋上での実施で一部の応援は教室への配信を利用する形でしたが、



十月祭での階段踊り場の装飾のうちの一つ

十月祭のスローガンは「Luminous」(光れ、青春)。でした。十月祭を通して、女子高生一人一人が十人十色の個性を発揮し、最大限輝いてほしい、という願いが込められたものです。参加団体は主に部活ごとで、日頃の活動の成果の披露や飲食の販売、ゲームなどで来場者を楽しませます。各団体の部屋の装飾も緻密に作られたものやダイナミックなものなどさまざまです。階段踊り場の装飾も力が入っています。夏休みをかけて、紙を切って貼って作られた装飾は、地下から5階まで順番にストリーになっていて、生徒たちの夢や希望があふれています。2022年度より入場できる人数を増やし、また4年ぶりに体育

館に皆が集まって開催された後夜祭では、有志によるダンスなどのパフォーマンスがあり大いに盛り上がりました。

このような行事や部活動、毎日の高校生活に生徒たちは主体的に取り組んでいます。2025年には開設75年を迎えますが、時代により変化していく事柄に合わせながら、今後も日々生徒たちが女子高を創り上げていきます。